

# 日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画 (旧名称：日墨研修生・学生等交流計画(日墨交流計画))

平成23年8月  
中南米局中米カリブ課

## 1 設置の経緯・実績

(1) 1971年、日墨両国政府は、メキシコのエチェベリア大統領(当時)が打ち出した構想に基づき、両国の青年を互いに留学させ、両国間の相互理解と友好親善を増進することを目的に、日墨研修生・学生等交流計画(日墨交流計画)をスタートした。以来、同計画は、日墨両国の相互理解及び友好のためのシンボリック事業として、各界で活躍する多くの人材を輩出し、両国関係にとどまらず、日本と中南米の交流を支える力となってきた。

2010年6月末までに38回実施され、これまでの研修実績は、双方合計で4,000名を超える。現在は、毎年双方50名ずつの枠で実施。

(2) 2010年2月、カルデロン・メキシコ大統領の訪日の際に、両国首脳間で両国の戦略的グローバル・パートナーシップに関する共同声明を発出し、日墨交流計画についても、これまでの成果を踏まえ、両国の現在のニーズを反映させつつ、戦略的グローバル・パートナーシップを強化する内容へと発展させることとなった。

### 【参考】

21世紀における戦略的グローバル・パートナーシップ及び経済成長促進に関する日本・メキシコ共同声明(2010年2月発表)：

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mexico/visit/1002\\_ks.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mexico/visit/1002_ks.html)

## 2 実施内容

(1) コース内容：

### 長期コース(約1年間)

メキシコ国内の大学、大学院等における専門科目スペイン語を受講する。なお、専門科目の受講にあたっては、両国の戦略的グローバル・パートナーシップの強化に資する専門分野を専攻することが推奨される

### 短期コース(約2週間)(2010年度から新設)

政府・公的機関、研究機関等において、専門分野にかかる講義の受講、関係施設の視察等を行う。上記1(2)の共同声明に掲げられた各分野に関連するコースが設置される。(2010年度は、メキシコ知的財産制度コース、遺伝資源コースを実施。)

(2) 待遇：

往復旅費、派遣期間中の一定の滞在経費をメキシコ政府が負担。授業料、講義料等は免除。

(3) 選考：

日本側で、選考試験(筆記試験(コースによる)、書類審査、面接等)により候補者を選定し、メキシコ側が受入を決定。(＊コースによっては中央省庁、公的機関、姉妹都市等からの推薦枠あり。)

## 3 意義・評価

(1) 日墨両国の戦略的グローバル・パートナーシップの強化に貢献出来るような若手人材の育成。2010年2月に日墨首脳間で発表した「日墨戦略的グローバル・パートナーシップ行動計画」の推進に貢献。

(2) 日墨友好の絆の強化に大きく貢献。

(3) 我が国におけるメキシコ、中南米研究及びスペイン語研究のレベルの向上に貢献。

(4) メキシコのみならず中南米諸国全般で、経済その他の分野の第一線で活躍する人材を養成。

(5) 将来を担う若い世代の人々に、メキシコ・中南米の異文化・社会を直接体験しつつ勉強する機会を提供。

